

苅田港国際物流ターミナル整備事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減(石炭)	2,452	円/トン・年	船舶大型化・輸送効率化による輸送コスト削減	7.6	億円/年
	輸送コストの削減(銅スラグ)	4,300	円/トン・年	船舶大型化による輸送コスト削減	12.9	億円/年
	輸送コストの削減(石膏)	1,540	円/トン・年	船舶大型化による輸送コスト削減	1.5	億円/年
	輸送コストの削減(石炭)	5,929	円/トン・年	輸送距離短縮による輸送コスト削減	35.0	億円/年
	輸送コストの削減(バイオマス燃料)	9,670	円/トン・年	輸送距離短縮による輸送コスト削減	99.6	億円/年
	輸送コストの削減(金属くず等)	2,377	円/トン・年	船舶大型化による輸送コスト削減	21.4	億円/年
	輸送コストの削減(オイルコークス)	4,680	円/トン・年	船舶大型化による輸送コスト削減	9.4	億円/年
	滞船コストの削減	62,771	円/時間・年	滞船の解消による輸送コスト削減	0.6	億円/年

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(令和6年6月)」を参照

費用

費用項目	建設費、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(水深13m、12m)3バース、航路(水深13m)、航路泊地(水深13m)、泊地(水深13m、12m)、護岸(防波)、防波堤、臨港道路、ふ頭用地